

平成 23 年台風 12 号による被害状況等について（第 52 報）概要版

1. 台風 12 号災害の概況

- 台風 12 号は、9 月 3 日 10 時前に高知県東部に上陸し、四国地方、中国地方を縦断して日本海へ北上し、5 日 15 時に温帯低気圧に変わった。
- 西日本から北日本にかけ、広い範囲で記録的な大雨となった。特に紀伊半島では 8 月 30 日 17 時からの総降水量が、多い所で 1,800 ミリを超えた。
- この災害により、奈良県、和歌山県において河道閉塞が 17 箇所発生した他、孤立集落が発生するなど、紀伊半島を中心に甚大な被害をもたらした。また、死者 78 名、行方不明者 16 名、全壊 371 棟、半壊 2,907 棟、床上浸水 5,657 棟、床下浸水 19,152 棟の人的・住家被害（11 月 2 日 17:00 消防庁調べ）をもたらした。

2. 政府の対応

- 9 月 3 日、官邸情報連絡室を設置。
- 9 月 4 日、災害対策基本法第 24 条に基づき、平野防災担当大臣を本部長とする「平成 23 年（2011 年）台風第 12 号非常災害対策本部」を設置。
- 9 月 9 日、野田内閣総理大臣が三重県、奈良県及び和歌山県内の被災地を視察
- 平野本部長出席の下で非常災害対策本部会議を開催。
 - ・ 9 月 4 日、非常災害対策本部会議（第 1 回）を開催。
 - ・ 9 月 5 日、非常災害対策本部会議（第 2 回）を開催。
 - ・ 9 月 6 日、非常災害対策本部会議（第 3 回）を開催。
 - ・ 9 月 7 日、非常災害対策本部会議（第 4 回）を開催。
 - ・ 9 月 9 日、非常災害対策本部会議（第 5 回）を開催。
 - ・ 9 月 16 日、非常災害対策本部会議（第 6 回）を開催。
 - ・ 9 月 20 日、非常災害対策本部会議（第 7 回）を開催。
- ※台風第 15 号に関する災害対策関係省庁連絡会議と合同開催
- 平野内閣府特命担当大臣（防災担当）出席の下、関係省庁連絡会議を開催。
 - ・ 9 月 4 日 台風第 12 号に関する災害対策関係省庁連絡会議
 - ・ 9 月 20 日 台風第 15 号に関する災害対策関係省庁連絡会議
 - ・ 9 月 22 日 台風第 15 号に関する災害対策関係省庁連絡会議（第 2 回）
- 政府調査団の派遣等
 - ・ 9 月 4 日 阿久津内閣府大臣政務官（防災担当）を団長とする関係省庁からなる政府調査団を和歌山県へ派遣
 - ・ 9 月 6 日 平野防災担当大臣が平成 23 年台風第 12 号による災害に関する現地調査を実施
前田国土交通大臣を団長とする関係省庁からなる政府調査団を奈良県へ派遣

- ・ 9月7日 森本大臣政務官が和歌山県田辺市、同日高川町を現地調査
- ・ 9月9日 後藤内閣府副大臣（防災担当）が野田内閣総理大臣による三重県、奈良県及び和歌山県内の被災地視察に随行
- ・ 9月12日 鹿野農林水産大臣が奈良県下を現地視察

3. 国土交通省の対応

○国土交通省の対応

- ・ 非常体制（風水害）：本省、中部地整、近畿地整、気象庁（※最大時）
- ・ 9月4日・政府調査団の一員として、和歌山県に水管理・国土保全局防災課長他9名を派遣。（～6日）
- ・ 9月6日・国土交通大臣を団長とする政府調査団を奈良県に派遣。奈良県知事、五條市長、十津川村長と面会。
- ・ 9月7日・国土交通大臣が奈良県川上村の被災地を視察。川上村長と面会。
 - ・ 和歌山県、奈良県の航空写真を国土地理院ホームページで公表
- ・ 9月8日・国土交通大臣指示により、国土交通省内に奥田副大臣をリーダーとする「紀伊半島台風12号災害緊急対応チーム」を設置。第1回会合を開催。
 - ・ 中部地整と三重県により「熊野地域公共土木施設復旧プロジェクトチーム」を発足。
- ・ 9月9日・近畿地整と奈良県・和歌山県により「道路復旧支援チーム」を発足。
- ・ 9月13日・第1回紀伊半島台風第12号災害緊急対応チーム幹事会を開催。
- ・ 9月16日・第2回紀伊半島台風第12号災害緊急対応チーム会合を開催。
- ・ 9月20日・国土交通副大臣が和歌山県の被災地を視察。
- ・ 10月6日・第2回紀伊半島台風第12号災害緊急対応チーム幹事会を開催。
- ・ 10月7日・第3回紀伊半島台風第12号災害緊急対応チーム会合を開催。
- ・ 10月17日・前田国土交通大臣が、和歌山県知事、新宮市長、那智勝浦町長、紀宝町長、野迫川村長と面会し、被災地現地視察を行った。
- ・ 10月19日・第1回紀伊半島台風第12号災害緊急対応チーム室長・官クラス会議を開催。
- ・ 10月26日・第4回紀伊半島台風第12号災害緊急対応チーム会議を開催。
- ・ 10月31日・紀伊半島南部の災害復旧・復興に関する国・三県合同対策会議の開催。

○河道閉塞への対応

- ・ 9月6日・河道閉塞12箇所（奈良県、和歌山県）を確認。
 - ・ 近畿地整が河道閉塞4箇所（奈良県五條市大塔町赤谷、十津川村長殿、栗平、和歌山県田辺市熊野）について、土砂災害防止法に基づく緊急調査及び土石流危険範囲の解析を実施。
- ・ 9月8日・土砂災害緊急情報（第1号通知）

※奈良県赤谷、栗平、長殿、和歌山県熊野の危険区域、土砂災害発生想定時期

等を通知。

- ・近畿地整が河道閉塞 4 箇所(水位計,監視カメラ)を設置し観測等を開始。
- ・ 9 月 9 日・ X バンド MP レーダによる降雨観測情報画面に、河道閉塞 4 箇所の概略の集水域を表示し、WEB 上で情報提供を開始。
- ・ 9 月 12 日・ 土砂災害緊急情報 (第 2 号通知)
 - ※奈良県赤谷、栗平、長殿、和歌山県熊野の危険区域の変更、土砂災害発生想定時期等を通知。
- ・ 9 月 13 日・ 5 箇所 (奈良県、和歌山県) の河道閉塞を確認。(計 17 箇所)
 - ・ 河道閉塞箇所 (奈良県五條市大塔町赤谷、十津川村長殿、栗平、和歌山県田辺市熊野) にワイヤーセンサーを設置。
- ・ 9 月 13 日・ 近畿地整が新たに河道閉塞 1 箇所 (奈良県野迫川村北股) について、土砂災害防止法に基づく緊急調査及び土石流危険範囲の解析を実施。
- ・ 9 月 15 日・ 土砂災害緊急情報 (第 3 号通知)
 - ※奈良県北股の情報を追加し、土砂災害発生想定時期等を通知。
 - 近畿地整が土砂災害防止法に基づき、土砂災害緊急情報を 1 県 1 村 (奈良県、野迫川村) に通知。
- ・ 土砂災害緊急情報 (奈良県十津川流域第 4 号、和歌山県日置川流域第 3 号通知)
 - ※明朝 (16 日) からの降雨のため、奈良県赤谷、栗平、長殿、北股、和歌山県熊野の土砂災害発生の可能性を通知。
- ・ 9 月 16 日・ 土砂災害緊急情報 (和歌山県日置川流域第 4 号通知)
 - ※和歌山県日置川流域における河道閉塞高さまで満水になるまでの推定累積雨量の超過を通知。
- ・ 土砂災害緊急情報 (奈良県十津川流域第 5 号)
 - ※奈良県十津川流域における河道閉塞高さまで満水になるまでの推定累積雨量の超過を通知。
- ・ 近畿地整が河道閉塞 2 箇所 (奈良県五條市大塔町赤谷、和歌山県田辺市熊野) にて、排水路設置などの緊急工事に着手。
- ・ 奈良県五條市大塔町赤谷、十津川村長殿、栗平、和歌山県田辺市熊野でそれぞれの市村が警戒区域を設定。
- ・ 9 月 17 日・ 土砂災害緊急情報 (奈良県十津川流域第 6 号)
 - ※奈良県十津川流域における河道閉塞高さまで満水になるまでの推定累積雨量が超過したが、監視カメラによる異常は認められない旨を通知。
- ・ 9 月 18 日・ 近畿地整が河道閉塞箇所 (奈良県野迫川村北股) に水位計を設置
- ・ 土砂災害緊急情報 (和歌山県日置川流域第 6 号)
 - ※降雨による、和歌山県熊野の土砂災害発生の可能性を通知。
- ・ 9 月 19 日・ 土砂災害緊急情報 (奈良県第 7 号、和歌山県第 5, 6 号)
 - ※降雨による、奈良県赤谷、北股、和歌山県熊野の土砂災害発生の可能性を通知。
- ・ 9 月 20 日・ 土砂災害緊急情報(奈良県第 8 号)

※降雨による、奈良県北股、赤谷の土砂災害発生の可能性を通知。

- ・ 9月21日・土砂災害緊急情報(奈良県十津川流域第9号)
 - ※奈良県赤谷、北股における越流の開始の可能性を通知。
 - 近畿地整が土砂災害防止法に基づき、土砂災害緊急情報を1県3市村(奈良県、五條市、十津川村、野迫川村)に通知。
- ・ 9月22日・奈良県五條市に土砂災害緊急情報現地対策協議会、和歌山県田辺市に河道閉塞対策協議会を設置。
- ・ 9月23日・奈良県十津川村、奈良県野迫川村に土砂災害緊急情報現地対策協議会を設置。
- ・ 9月24日・近畿地整が河道閉塞箇所(奈良県野迫川村北股)に斜面崩壊検知センサーを設置(9/24)
- ・ 9月30日・近畿地整が奈良県吉野郡野迫川村北股地区において、緊急工事に着手。
- ・ 10月8日・近畿地整が奈良県吉野郡十津川村長殿地区及び栗平地区において、緊急工事に着手。
- ・ 10月14日・土砂災害緊急情報(奈良県十津川流域第10号)
 - ※奈良県赤谷における越流の開始の可能性を通知。
- ・ 11月2日・土砂災害緊急情報(奈良県第11号、和歌山県第7号)
 - ※重大な土砂災害等が想定される区域の変更
- ・ 11月19日・土砂災害緊急情報(奈良県十津川流域第12号)
 - ※奈良県赤谷における越流の開始の可能性を通知。
- ・ 12月3日・和歌山県田辺市が熊野地区の警戒区域を解除
- ・ 12月11日・那智川流域で発生した土砂災害に対し、金山谷川(那智勝浦町)の緊急工事に着手
- ・ 12月23日・奈良県野迫川村が北股地区の警戒区域を解除

○災害情報連絡担当官(リエゾン)

- ・ 9道県22市町村にのべ1,518名派遣し、自治体の災害対応支援を実施(9/2~)

○緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)

- ・ 奈良県、和歌山県、三重県からの要請を受け、本省、近畿・中部地方整備局、国土技術政策総合研究所から、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)高度技術指導班を、のべ26名派遣。(9/4~6)
- ・ 国道42号、熊野川の被災状況調査等のため、全国の地方整備局から、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)被災状況調査班等を、のべ5,159名派遣。(9/3~)

○災害対策用機械等

- ・ 発災直後より、国土交通省の保有する災害対策用ヘリコプター8機と民間ヘリコプター1機を展開し、のべ175機により上空からの広域被害調査等を実施中。(9/4~)
- ・ 排水ポンプ車、照明車、衛星通信車等の災害対策車両のべ8,907台、海洋環境整備船のべ46隻を全国より被災地に集結し、災害対応を実施中。(8/31~)

4. 所管施設被害、交通機関への影響

○河川の状況

- ・計画高水位を超えた河川 2 水系 3 河川
(宮川水系宮川、新宮川水系相野谷川、熊野川)
- ・氾濫危険水位を超えた河川 5 水系 5 河川
(石狩川水系雨竜川、菊川水系菊川、加古川水系加古川、旭川水系旭川、
那賀川水系那賀川)
- ・洪水貯留操作を実施したダム 国管理 24 ダム、水機構ダム 9 ダム、
県管理 66 ダム
- ・国管理河川施設被害 17 水系 115 箇所
- ・道府県管理河川施設被害 1,933 箇所

○土砂災害の状況

- ・土石流等 91 件 (栃木、神奈川、山梨、三重、滋賀、兵庫、奈良、和歌山、
鳥取、島根、岡山、徳島、愛媛、高知)
- ・地すべり 30 件 (山梨、静岡、三重、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、徳島、愛媛)
- ・がけ崩れ 80 件 (北海道、群馬、神奈川、埼玉、山梨、静岡、三重、奈良、
和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、徳島、香川)

○道路の状況 (台風 15 号による被害を含む)

- ・孤立集落 1 地区 (奈良県十津川村 1 地区)
- ・通行止め状況 高速道路等なし、直轄国道なし、県管理国道 13 区間、道府県
道 87 区間

○鉄道の状況

- ・27 事業者 82 路線 113 区間で運転休止 (12 月 3 日 全区間運転再開)

○港湾の状況

- ・港湾施設等被害 19 港湾 38 箇所 (十勝、木本、二木島、姫路、尼崎西宮芦屋、
東播磨、津名、日置、古座、鳥取、徳島小松島、日和佐、今切、栗津、高松、
東予、新居浜、今治、下ノ加江)

○下水道の状況

- ・7 市町 8 箇所で被害発生
応急復旧済み：処理場 3 箇所 (姫路市、多可町、田辺市)、
ポンプ場 4 箇所 (高砂市、湯梨浜町、岡山市、姫路市)
応急対応中：管渠 1 箇所 (和泉市)